

# 農業委員会事務局

## (1) 農業委員会事務局予算のポイント

### ◆予算編成にあたっての背景・課題

- 都市農業の振興や都市農地の保全を推進するため、2017年に生産緑地法の一部改正がなされ、大半の生産緑地が指定から30年を迎える2022年に向けて特定生産緑地制度が施行されました。
- 2018年度に都市農地の貸借の円滑化に関する法律が施行されたことにより、国、東京都、他自治体との課題の共有や意見交換を進めるとともに、農業者に対しての説明責任を果たしていく必要があります。
- 『農地等の利用の最適化』を進めるために、農地パトロール等の活動を行い、遊休農地の解消や農地利用の集約化を図ります。
- 農地法に基づく農地の売買・貸借の許可、農地転用案件への相談など、『農地法に基づく事務の執行』に努めます。

### ◆主な事業費の説明

- 農業委員14人、農地利用最適化推進委員6人の報酬を計上しています。

**(2) 2019年度 農業委員会事務局予算総括表**

一般会計

(単位:千円)

款	項目	2019年度	2018年度	比較	事業名
6	農林費				
	1 農業費				
	1 農業委員会費	14,321	14,291	30	委員会運営費
	合計	14,321	14,291	30	

※職員人件費は除いています。

農業委員会事務局予算(一般会計)財源内訳

(単位:千円)

	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2019年度	14,321	0	184	0	215	13,922
2018年度	14,291	0	184	0	259	13,848
比較	30	0	0	0	△ 44	74

**(3) 事業別支出科目一覧**

款	項	目	事業名	所属名	金額(千円)
6	1	1	農業委員会費		14,321
			02 委員会運営費	農業委員会事務局	14,321
			農業委員報酬		12,528
			普通旅費		50
			特別旅費		33
			費用弁償		48
			交際費		35
			消耗品費		45
			印刷製本費		199
			システム保守点検委託料		382
			作成委託料		1
			研修負担金		30
			体験農業実行委員会負担金		60
			東京都農業会議負担金		852
			南多摩地区農業委員会協議会負担金		58

## (4) 事業の説明

一般会計

一般会計		款 6 項 1 目 1 農業委員会費				
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2019年度	14,321	0	184	0	215	13,922
2018年度	14,291	0	184	0	259	13,848

### 2 委員会運営費

14,321 千円

担当 農業委員会事務局

予算書 122 ページ

財源内訳

国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
0	184	0	215	13,922

#### ○事業の内容

農業委員会が『農地等の利用や最適化』を進めるために、農地パトロール等の活動を行い、遊休農地の解消や農地利用の集約化を図ります。

また、農地法に基づき、各種事務処理等を迅速かつ正確に行います。

#### ○2019年度の取り組み

引き続き、農地保全・利用推進に向けた活動を進めることにより、都市農地を保全し、農業者への制度の適正な執行を推進し、農家が意欲的に農業経営に取り組めるように支援します。また、農地法に基づき、各種事務処理事項を迅速かつ正確に行います。

主な事業費	農業委員報酬	12,528千円
	東京都農業会議負担金	852千円
	システム保守点検委託料(農地台帳システム)	382千円
主な特定財源	国有農地管理事務費(都)	184千円
	農業者年金業務取扱費	151千円
	農業諸証明手数料	63千円



<農地パトロールの様子>